

第 14 回

オンライン同時開催

経営革新シンポジウム

無料

知恵と個性で勝ち抜く！

中小企業の 経営革新3つの視点

変化に挑む時代、経営革新が企業を救う

企業を取り巻く環境はかつてないスピードで変化しています。これまでの成功モデルや慣習にとらわれることなく、持続的な成長に向けた「経営革新」が今まさに求められています。

今回のシンポジウムでは、今年度中小企業白書に掲載された企業やカンブリア宮殿で紹介された企業、さらに愛知ブランド企業など実際に成果を上げている企業が登壇。現場での取り組みや変革のプロセスを、具体的な事例とともに紹介します。明日からの経営に活かせるヒントが必ず見つかる内容です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時

2026年3月9日(月)

13時30分～17時30分

受付開始：13時15分

プログラム

経営革新に取り組む事例紹介

場所

ウィंकあいち
1202会議室

パネルディスカッション

お申し込み

先着100人

オンライン同時開催



お申し込みはこちら



<https://docs.google.com/forms/d/1cxBOETLCYtQiHHhfUAjP94hRnS7kwvJPgyyYbYNPZGg/edit>

講演者と講演概要、ディスカッション出席者の紹介

13時40分～14時45分 講演者、ファシリテーター



株式会社 おとうふ工房いしかわ 代表取締役

石川 伸 氏

1963年2月3日刈谷市に豆腐屋の次男として生まれる。1985年 日本大学農獣医学部食品工学科卒業、東京の雑穀輸入会商社のグループ会社で開発職に従事。1990年 結婚を機に退職し帰郷、生業の豆腐屋を継ぐ。1991年(有)おとうふ工房いしかわを家族のみで設立。2025年 35年が経ち年商57億円従業員500人の会社に成長。直営店40店東京/大阪営業所 厚木/京都/小牧物流センター。グループ会社 八里屋(株)三重県安城デンピール(株)愛知県NPO法人だいきずくず。家族 妻と実母、子ども三人は結婚独立、孫3人。(社)全国豆腐連合理事。(社)南三河食文化研究会理事長。(社)日本乾燥おから協会代表理事高浜。ライオンズクラブ第45代会長高浜市商工会顧問(前会長)。

<講演概要>

たかが豆腐 されど豆腐。町の小さな豆腐屋が、金無し、人無し、技術情報無しの何にもない中で生業を継いで七転八起して成長していくよもやま話。自分の子どもが生まれた時に気付いた一つの価値観「自分の子どもに食べさせたい豆腐を作る」。大豆の大幅作に見舞われた平成15年に川下戦略から川上に遡る価値観「農業問題」「環境問題」に取組み、更なる成長が生まれる。新たな価値観は、震災、世界的経済不況、感染症等による激動の時代を乗り越える原動力になった。それは農家のおじいさんから聞いた「大豆3粒の話」でした。私たちの行動指針は「PAY IT FORWARD」の原型です。



公益社団法人 愛知県中小企業診断士協会

最新ノウハウ実践研究会

本研究会は、企業経営におけるヒト・モノ・カネ・情報のテーマを中心に、多様なバックグラウンドを持つ研究会員の最新ノウハウを実践・共有し、研究会員の経営支援スキルの向上を図ることで、支援先企業の発展に貢献しています。

14時50分～15時55分 講演者、ファシリテーター



有限会社 川崎商店 代表取締役

川崎 紘嗣 氏

有限会社川崎商店(川崎文具店)5代目社長。前職の営業職で培ったコミュニケーション力を活かし、創業100年を超える文房具店を万年筆とインク専門店へ転換。「色彩の錬金術師インクパロン」として350色以上のオリジナルインクを創作。ストーリー性ある商品展開と社長自身のブランディングにより、県外・海外からも顧客を集める存在に。地域支援機関と連携し、差別化戦略による成長を実現。

<講演概要>

創業100年の老舗文房具店を継いだ川崎社長は、万年筆とインク専門店への大胆な転換を決断。自らを「色彩の錬金術師インクパロン」とブランディングし、顧客ひとりひとりに合わせたインク調合や物語性ある商品を展開しました。その結果、県外や海外からも来客を呼び込み、売上は倍増。老舗企業が苦境を突破し、世界へ羽ばたいた「差別化戦略と社長ブランド確立の実例」をお伝えします。



公益社団法人 愛知県中小企業診断士協会

経営力再構築伴走支援研究会

本研究会は、激変する経営環境を力強く生き抜き、価値を創造し続けられるよう、経営者や企業の潜在能力を引き出す伴走支援を目指しています。そのため、コミュニケーション、財務・会計、知的資産、IT・DX、ブランディング、リスクマネジメント、業界特性・動向、支援機関連携など多彩なテーマを研究しています。

16時10分～17時15分 講演者、ファシリテーター



株式会社 五合 代表取締役

小川 宏二 氏

もともとは電機メーカーに勤め、電機制御機器の製造などに携わる。下請けではなくメーカーになりたいと34歳の時に独立を決意し2000年に創業。勤めていた会社の協力会社から生産管理のコンサルティングの依頼を受け、その会社が塗装会社であったから、塗装に関する勉強もしながらコンサル業をスタート。コンサル業が軌道に乗り始めた2003年に、小牧市から春日井市に移転し株式会社化。コンサルだけでなく、工場ラインの操業自体も依頼されるケースもあり、100名近くを派遣するなど人材派遣業が主力になった時期もあった。電気制御技術とコンサル業で培った塗装技術を足掛かりに、開発型のものづくり企業へと転換していった。

<講演概要>

2000年、「発明こそ社員を幸せにできる」と信じて脱サラし、知的財産の勉強をしながら、生産技術系コンサルティング事業を開始。2003年に無機塗料事業を開始し、2005年には社員の労災事故を機に、天井クレーン安全装置の開発へと異業種参入しました。塗料事業ではブラックボックス化と契約戦略を組み合わせたオープン&クローズ戦略、クレーン事業では特許群による知財MIX戦略を展開。創業以来、中小機構・INPITなど多くの専門家の伴走支援を頂きながら、「知財を武器に社会課題を解決する経営革新」を実践しています。



公益社団法人 愛知県中小企業診断士協会

知的資産経営研究会

中小企業の「稼ぐ力」は、目に見えない強み「知的資産(人材・技術・仕組み・繋がり・ブランドなど)」によって支えられています。私たちは、それら見えない強みを見る化し、顧客への価値提案へつなげ、売上・利益の拡大や資金繰りの改善につながる事例や手法を研究する研究会です。

主催

公益社団法人 愛知県中小企業診断士協会 TEL 052-581-0924 FAX 052-581-7889
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3丁目22-8 大東海ビル809A

運営

実行委員長：猿渡圭介

実行委員：小田友紀子、加藤吉彦、川井貴文、木内義貴、中村謙治、西栄蔵、脇田尚之

後援

経済産業省 中部経済産業局、独立行政法人 中小企業基盤整備機構、公益財団法人 あいち産業振興機構
一般社団法人 中部産業連盟、愛知中小企業家同友会、中日新聞社、中部経済新聞社